福岡市 Well-being＆SDGs 登録制度：マスター

事業者名	株式会社フジタ　九州支店
代表者名	支店長　安東　則好
所在地	福岡市博多区下川端町１番１号
市内拠点所在地	（所在地が市外の場合のみ記載） －
業種	建設業
電話番号	092-281-0665
ホームページ	－

Well-being 向上に向けた取組み	ダイバーシティ推進部を設置し、育児や介護と仕事との両立の支援や、女性活躍、積極的な外国籍社員・障がい者採用などに取り組んでいる。 特に女性活躍については業界に先駆けて様々な施策を推進しており、この取組が認められ令和４年度東京都女性活躍推進対象優秀賞を受賞。 今後も多様な働き方の実現に向けて取組を加速させていく。		
アンケート実施	○	**アンケートの社内共有**	○

■SDGs達成に向けた取組みチェックシート　　事業者名：　株式会社フジタ九州支店

カテゴリ	チェック項目	3側面該当 環境	社会	経済	具体的な取組み ※150文字以内でご記入ください	関連する主なSDGs 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	**【ダイバーシティ経営の促進】** ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境を整えている。		○	○	・2007年から業界に先駆けてダイバーシティ推進の取組をスタートした。ダイバーシティ推進部を設置し、女性活躍・外国籍社員や障がい者などを対象に取組を拡大している。					○			○		○							
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。		○	○	・2017年度から在宅勤務制度の運用を開始、生活と仕事を両立する勤務体制づくりを進めている。 ・育児と仕事の両立のため、男性社員も参加し育児期間前後のキャリア形成について外部講師を招いてセミナーを開催。 ・2019年度から毎年介護ニーズに関する社内調査を実施。調査結果を基に職場環境整備を図っている。					○			○		○							
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。		○	○	・2019年4月にハラスメント防止規程を策定し、セクシャルハラスメント、パワーハラスメントおよび妊娠・出産・育児休職・介護休職などに関するハラスメントを防止するために従業員が遵守すべき事項ならびに防止措置を制定。このほか定期的な社内研修を実施している。					○			○		○						○	
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。		○	○	・長時間労働の削減と生産性向上を図るため2022年度に「作業所DX推進部」を新設。働き方改革の推進を社の最重要課題として位置づけ、取り組んでいる。 ・2021年4月に健康増進センターを設置。事業所ごとに健康経営施策を立案・推進している。			○		○			○									
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。		○	○	・社内に「研修センター」を設置し、従業員に対する各種研修を実施。研修制度には、階層別研修や基礎技術と専門知識を大学のカリキュラムのように学ぶ「フジタ建設大学」に加え、技術伝承を集中的に行う「圧倒的教育」などがある。				○	○			○	○								
環境	**【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】** ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	・建設廃棄物管理については「建設廃棄物等適正処理要領」を規定、運用している。 ・管理実務として、建設廃棄物に関するすべての情報を扱う「建設副産物管理システム」を運用し、処理の適正化と管理の省力化を進めている。また、資源循環推進のため、建設廃棄物の排出量目標を設定し、削減・リサイクル活動を進めている。			○			○					○	○		○			
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○		○	・温室効果ガス削減のため、再生可能エネルギーの利用を積極的に進めている。施工においては2021年度末で約6割の工事現場で再エネ電力の利用を達成。軽油代替燃料の利用推進、新築建物のZEB化、施工現場での省燃費重機の活用など、事業のバリューチェーン全体でのCO2排出量削減を推進している。							○					○	○					
環境	**【生物多様性、天然資源への配慮】** ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○		○	・2022年度より経団連の「生物多様性宣言イニシアチブ」による「経団連生物多様性宣言・行動指針(改訂版)」への賛同を表明し、活動方針や活動事例を公表。社内目標として「開発・街づくりにともなう生物多様性保全」として、「緑被率」「生物多様性自主基準適合率」「在来種植栽実施率」の目標を設定・運用。						○						○	○	○	○		
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○			・事務所における水使用量を管理、節水機器取付の推進など水使用量の削減を推進。2021年度において2017年度比5%削減を達成。						○											
製品・サービス	**【製品・サービスの安全性】** ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。		○	○	・2022年度より「品質監理部」を新設。建築・土木の施工・工事監理に対して独立した立場で品質監査を実施し、品質の担保並びに全店の品質管理業務を統括している。「施工品質評価基準」を設けてすべての工事作業所に適用、社員の実務経験年数に関らない一定水準での品質検査を行っている。			○									○					
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	○	・建設業として地域社会とのコミュニケーションや自然環境への配慮、「築育」活動などに積極的に取り組んでいる。 ＊「築育」とは次代を担う子供たちや若者、地域住民の方々にものづくりの楽しさ、街づくりの大切さ、自然環境への配慮などを伝え、広めていく活動のこと。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公正な事業慣行・組織体制	**【個人情報保護】** ・個人情報を適切に管理している。		○		・情報セキュリティ委員会を設置し、情報管理規定ならびに個人情報保護規定を策定。定期的な情報セキュリティ教育を実施し、情報リスクに関する管理体制の確立に努めている。																○	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。		○		・外部講師による社員教育や、階層別教育でのコンプライアンス研修、e-ラーニングによるコンプライアンス教育を継続実施。毎月リスク管理委員会を開催し、リスク情報の水平展開を図り、コンプライアンス・リスク管理体制の強化に努めている。																○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。			○	・「経営理念」等を明文化し、掲示等、従業員が常に確認できるようにしている。 ・「経営目標」を全従業員が確認できるよう社内イントラに掲載し、社長訓示についても全社員向けにweb放映し、イントラへ掲載し共有している。								○	○								○
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生のおける事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	・すべての災害に対応すべく「フジタ防災基本計画」を制定し、有事に速やかに災害対策本部が設置される体制を整備、毎年BCP訓練を実施している。 ・関東地方整備局および近畿地方整備局において「建設会社における災害時の事業継続力認定」を受けている。									○		○		○			○	